

令和7年度(2025年度)

第1回「くまもとで働こう」推進本部会議

日時: 令和7年6月6日(金) 13:00～13:40

場所: 知事応接室

次 第

1 開会

2 本部長（木村知事）挨拶

3 報告

(1) これまでの総括、人手不足の現状について 資料1

(2) 令和7年度の主な取組み、好事例の横展開の状況、
県南及び天草地域の取組み、KPIに関する連携体制、
新規高等学校卒業者の県内定着等に向けた取組み

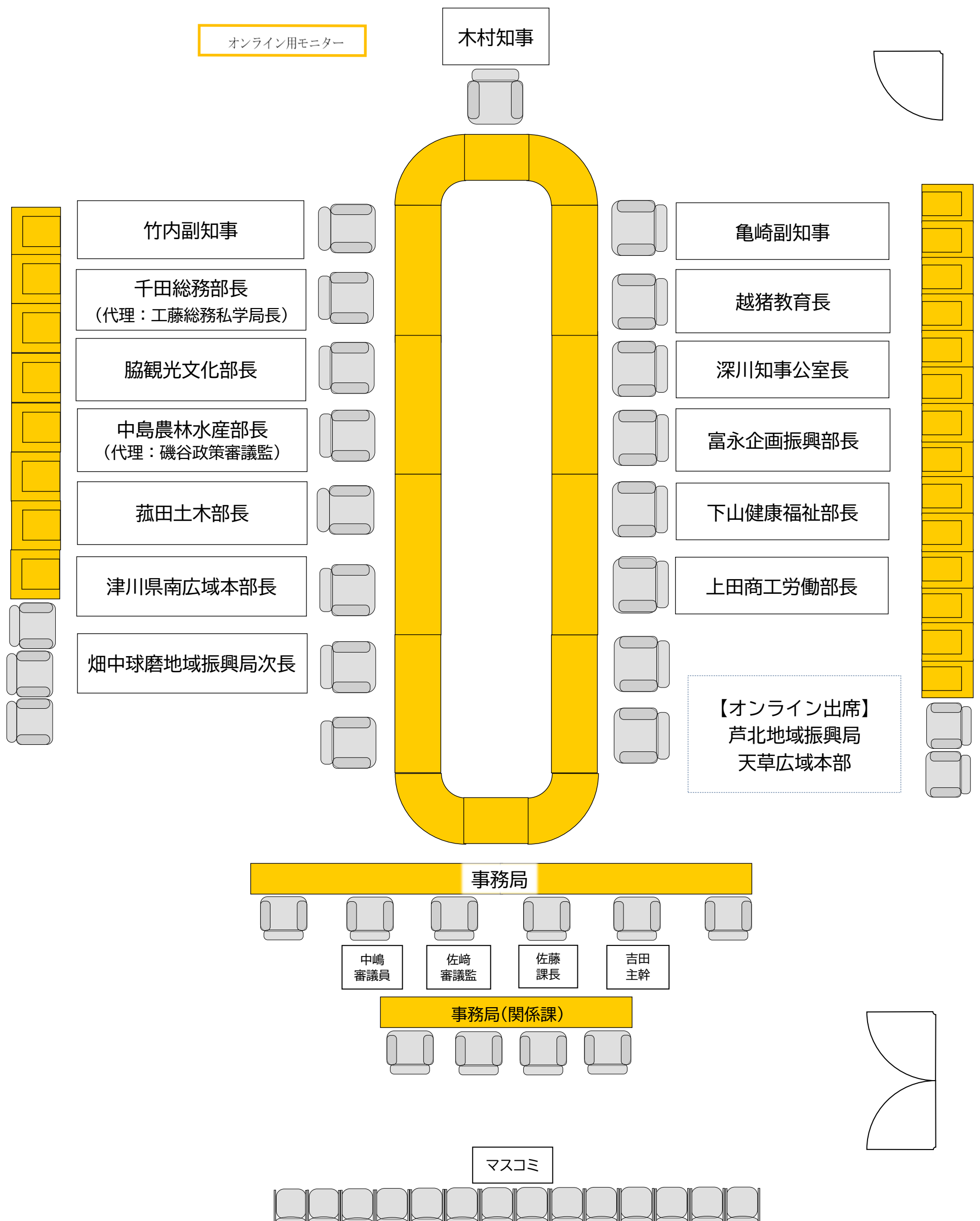
資料2

4 意見交換

5 閉会

令和7年度 第1回「くまもとで働こう」推進本部会議 配席図

日 時:令和7年6月6日(金)13:00~13:40
場 所:知事応接室



令和7年度(2025年度)

第1回「くまもとで働こう」 推進本部会議

令和7年(2025年) 6月6日

1 これまでの総括／ 人手不足の現状について

1 「くまもとで働こう」推進本部 ～ 令和6年度概要（1）～

- 各産業で深刻な人手不足の状況にある中、県内における産業人材の確保・育成に向け、庁内関係部局による連携体制を構築し、課題解決に向けた取組みを進めるため、令和6年8月に「くまもとで働こう」推進本部を設置

第1回 本部会議（令和6年8月20日）

【熊本県の人手不足の現状について】

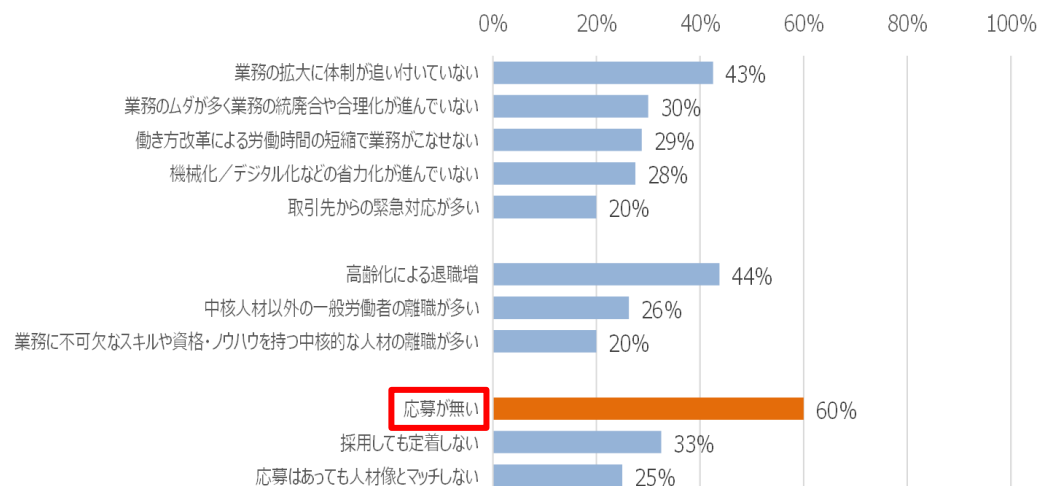
- ・熊本商工会議所などによるアンケート調査結果によると、**75%の企業が、人手不足感がある**と回答【下表 ①】
- ・令和5年度から令和6年度にかけて、**企業の求人に対して求職者が毎月7,000人程度不足**
- ・職業別では「建築・土木・測量技術者」「医療技術者」「介護サービス職業」「接客・給仕職業」「輸送・機械運転従事者」「土木作業」等の求人倍率が高い
- ・令和6年3月末高校卒業者の**県内就職率は、66.1%で、全国ワースト5位**

①県内企業における人手不足の現状

	人手不足感があると答えた 企業の割合
製造業（30社）	83%
流通業（18社）	67%
サービス業（44社）	70%
建設業（15社）	80%
全体（107社）	75%

※出典：熊本商工会議所「熊本県下の中小・小規模事業者100社アンケート（2024年4月発表）」
協力団体：公益財団法人くまもと産業支援財団、熊本県よろず支援拠点、熊本県中小企業活性化協議会、熊本県事業承継・引継ぎ支援センター）

②人手不足の原因（複数回答）



【人材育成・確保に関連した課題について】

区分	主な課題
県内 定着	(1) 進学や就職の際に高校生をはじめ若者が県外へ流出することによる県内労働力の減少 (2) 県内学生に業界や県内企業の魅力が伝わっていない、又は魅力不足
人材 育成	(1) 企業においては人材育成のための時間や資金が不足、人材育成する側の人材不足や高齢化 (2) 若者の希望職種が多様化により、専門職種を学ぶ生徒が減少

区分	主な課題
生産性 向上	(1) 業務効率化と生産性向上に関する理解や認識の不足及びそれに伴う支援制度の未活用 (2) ロボットやICTの導入により負担が軽減するものの、資金・人材・ノウハウ不足等が課題
働きや すい職 場環境	(1) 業務量の多さや職場の人間関係などを要因とした離職 (2) 女性が働きやすい労働環境の整備が不十分 (3) 長時間労働、不規則な勤務形態、週休二日の確保困難、不十分な福利厚生

1 「くまもとで働こう」推進本部 ～ 令和6年度概要（2）～

第2回 本部会議（令和6年10月25日）

【企業、他自治体等の好事例】

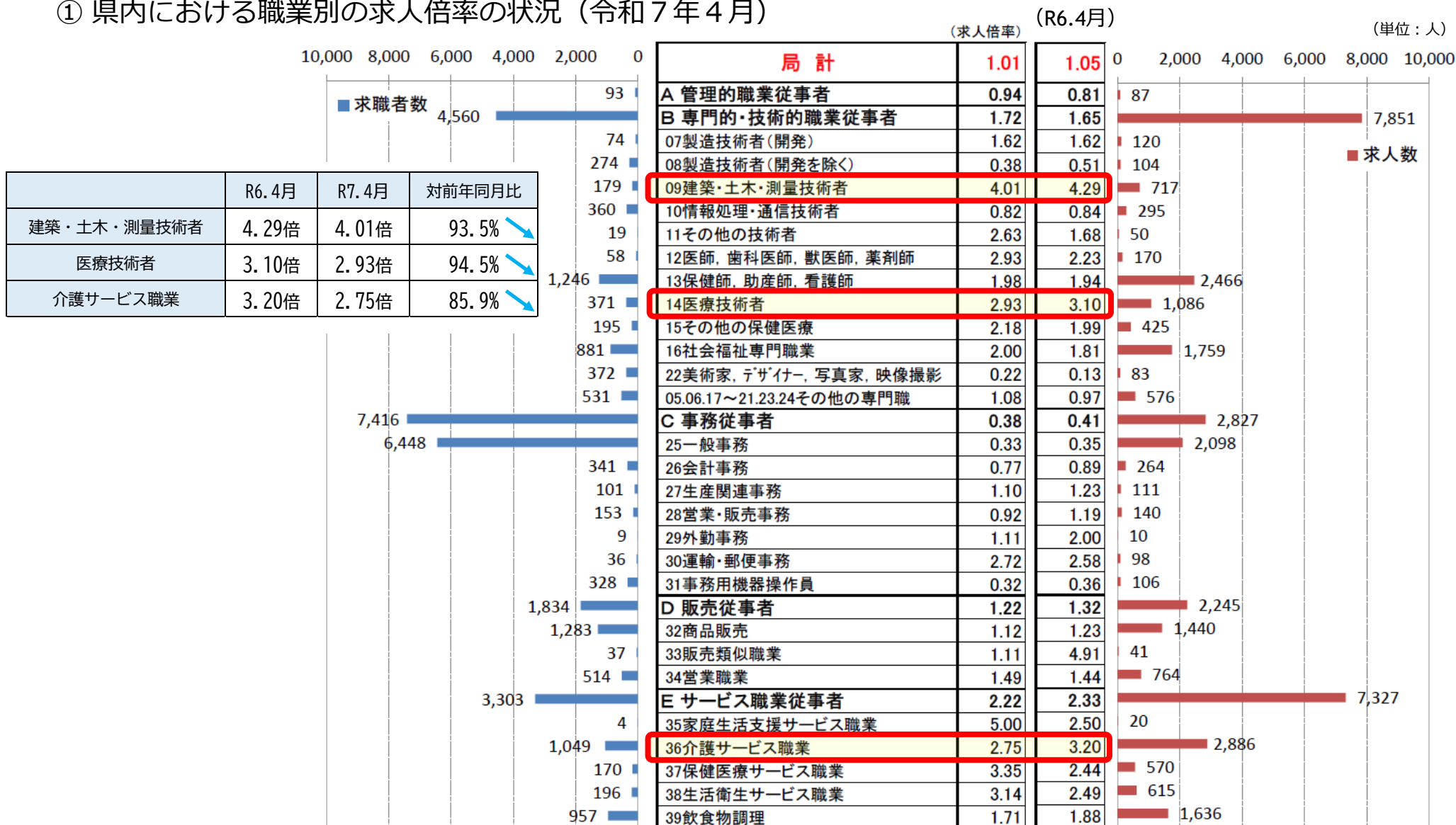
20以上の企業、団体等から好事例を収集

区分	主な取組み内容
県内 定着	・企業側に技術講師の派遣、インターンシップの受入れ等を協力いただき、専門学校において企業が求める人材を育成。【教育機関】 ・建設産業への理解を深め、入職に結びつけるため、高校生や保護者を対象にした現場見学会や現場実習を開催。【建設業】 ・地域の小学校や高校からのインターンシップ・会社訪問等の積極的な受入れ。【建設業】 ・休日に保護者と生徒を対象に工場見学及び会社説明会を実施。団体対応でなく、随時、個別対応で実施。【半導体関連業】 ・会社のセールスポイント及びネガティブポイントを整理し、会社の特徴や魅力について、就職説明会等でPR活動を実施。【製造業】 ・高校へ訪問して採用活動をする際に、先生方より、選ばれない理由などを聞き取り調査を行い、会社の弱点を分析。【製造業】
人材 育成	・社会のニーズの高まりを受け、半導体情報コースを新設(R7年度)。【教育機関】 ・卒業生から、Webのプログラミングやデザイン、映像制作等、プロの高い技術を学生に直接 指導。【教育機関】 ・半導体関連人材の育成拠点として身近に学べる場として、学生向け研修の無償受入を実施。【半導体関連業】 ・専門学科系高校生の2級土木・建築施工管理技士補の資格取得費用の一部を助成。【建設業】 ・大学院進学等のサポートとして、進学費用を全額会社で負担。【製造業】 ・国家資格取得のサポートとして、通信教育受講費用を全額会社で負担。【製造業】

区分	主な取組み内容
生産性 向上	・自動音声入力による会議記録作成や、ソフトの導入による勤怠管理のデジタル化など、ICT技術の活用により業務改善を促進。【介護サービス業】 ・既存業務の省力化を図るため、支援制度を活用し、現行の公式ウェブサイトのシステムを再構築。【観光業】 ・組合と各旅館で行っている備品の受発注業務の省力化を図るため、支援制度を活用し、受発注システムを開発。【観光業】 ・DX技術導入による省人化(設備装置の自動化、簡素化)。【製造業】 ・クルマエビの伝統的な養殖方法にスマート技術を活用し、養殖業の見える化と省力化を実現。【製造業】 ・高等専門学校の学生とともに、スマート生産システム(特にAI)の開発、実証の取組みを実施。【製造業】
働きや すい職 場環境	・資格を要する介護職の業務と、資格を必ずしも要しない業務に切り分け、後者の業務を細分化することで、障がい者やアクティブシニア等が働きやすい環境を整備。【介護サービス業】 ・入浴介助専門など職務内容を明確にしたジョブ型の雇用による積極採用。【介護サービス業】 ・入社後すぐに休暇を付与(11日)、別途誕生日休暇を付与。【製造業】 ・女性社員からの要望に応え、執務室にはカフェスペースを設置、女子更衣室にはパウダールームを設置。【電気工事業】 ・パート従業員について、フルタイム勤務の場合は採用から3年後に正規雇用に転換。【製造業】 ・正規従業員だけでなく、パート従業員に対しても産休・育休制度を設置し、子の看護・介護による休業についても就業規則で規定。【農業】 ・勤怠管理アプリ導入による長時間労働の解消や、若手社員をはじめ社員全体のスキルアップなどに取り組み、働く環境を整備したことで、ブライト企業の認定を受け、新規入職者も増加。【建設業】 ・運転職給与を5%アップ、大型二種免許取得費用負担、事故防止向け教育研修の実施。【交通・運輸業】 ・従業員の家族も慰安旅行やイベントに招待、57種の資格取得手当や資格取得支援。【電気工事業】 ・社宅の整備に合わせて、自宅からの通勤者に対して、八代市内の主要箇所を停留する会社へのシャトルバスを運行。【半導体関連業】

2 熊本県の人手不足等の現状について（１）

① 県内における職業別の求人倍率の状況（令和７年４月）



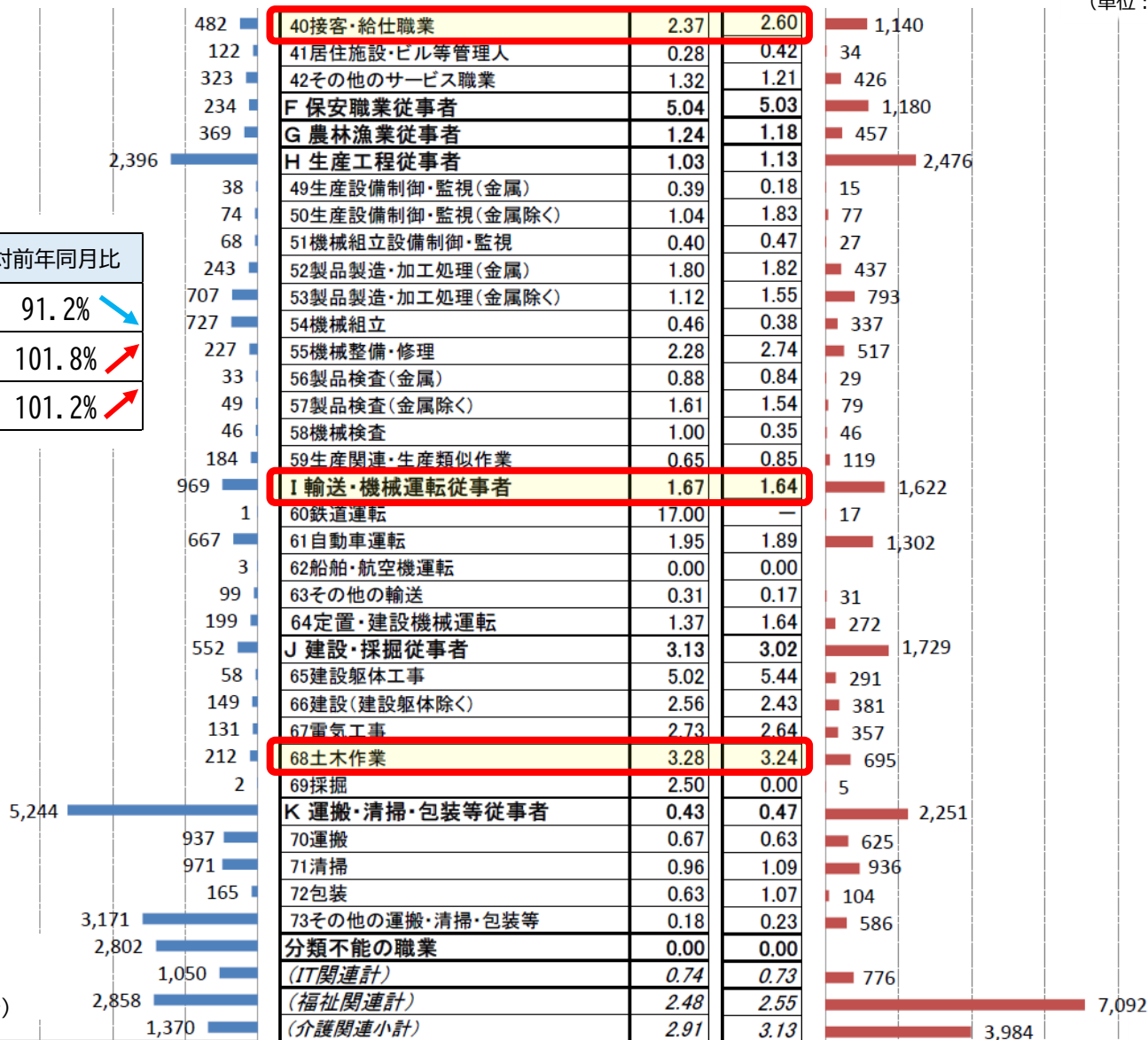
2 熊本県の人手不足等の現状について（2）

① 県内における職業別の求人倍率の状況（令和7年4月）

（R6.4月）

（単位：人）

	R6.4月	R7.4月	対前年同月比
接客・給仕職業	2.60倍	2.37倍	91.2% 
輸送・機械運転従事者	1.64倍	1.67倍	101.8% 
土木作業	3.24倍	3.28倍	101.2% 

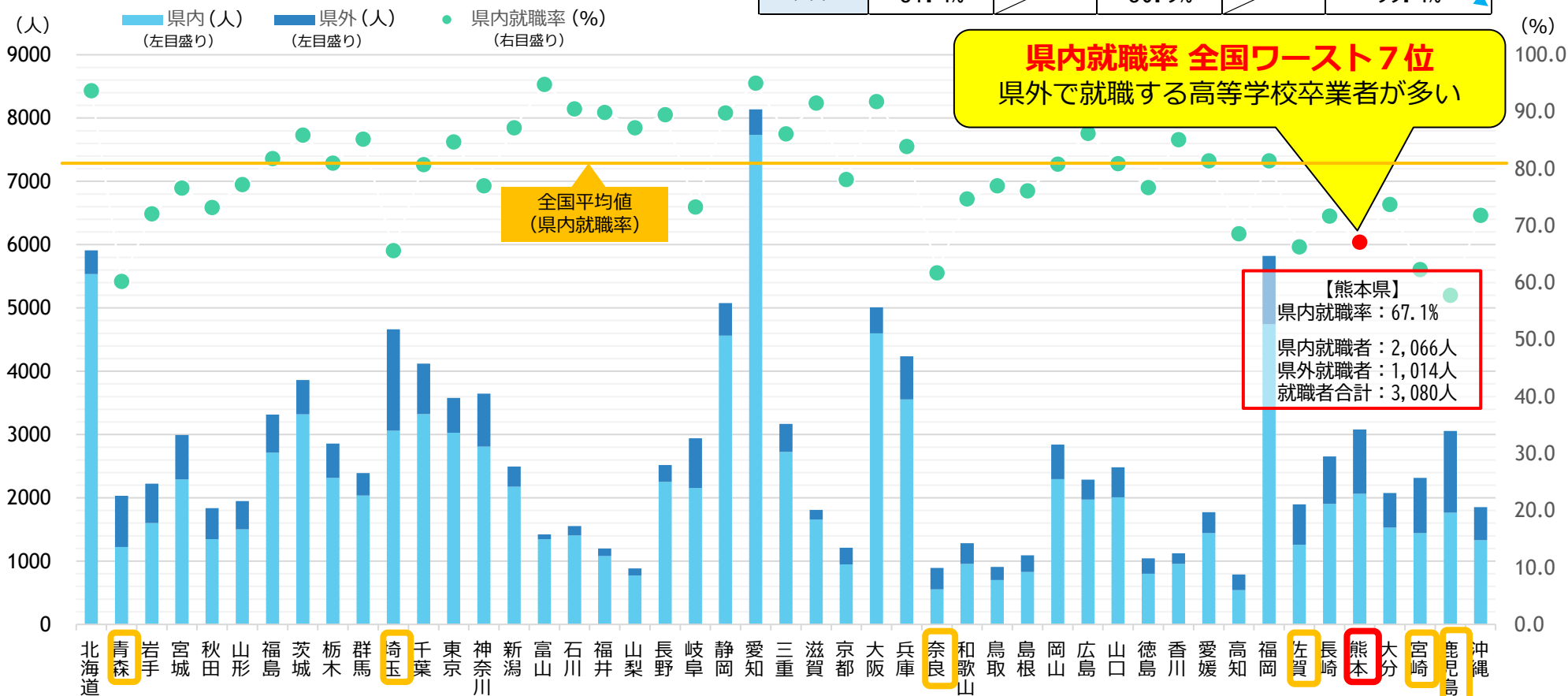


※出典：熊本労働局（職業別 有効求人・求職・求人倍率
「令和7年4月」
（平成21年12月改定の「日本標準職業分類」に基づく区分）

2 熊本県の人手不足等の現状について（3）

② 新規高等学校卒業者の就職決定者数に占める県内就職者数の割合（令和7年3月末現在）

	R6. 3月		R7. 3月		対前年比
	県内就職率	順位	県内就職率	順位	
熊本県	66.1%	43位	67.1%	41位	101.5% 
全国平均	81.4%		80.9%		99.4% 



※出典：文部科学省（令和7年3月新規高等学校卒業者の就職状況）

2 令和7年度の主な取組み／

好事例の横展開の状況／

県南及び天草地域の取組み／

K P I に関する連携体制／

新規高等学校卒業者の県内定着等に向けた取組み

1 「くまもとで働く」人材の確保・育成に向けた取組みの方向性

- 新規学卒者等の「県内定着」や、教育機関と連携した「人材育成」、DX等による「生産性向上」、更には「働きやすい職場環境づくり」など、熊本の活力の前提となる人材の確保・育成を推進していく

「くまもとで働こう」推進本部

【取組みテーマⅠ：県内定着】

- ・ 県内の各産業分野や県内企業で働くことの魅力の発信
- ・ 新規学卒者等の求職者が各産業分野の業務内容を知り、体験できる機会や、県内事業者と出会い、マッチングする機会の創出
- ・ UIJターン就職の促進

【取組みテーマⅡ：人材育成】

- ・ 地域（産学官）と連携したキャリア教育の充実
- ・ 各教育機関、職業訓練、人材研修等を通じた産業人材の育成、キャリア形成やリスキリングの支援

【取組みテーマⅢ：生産性向上】

- ・ デジタル化やICT活用を進める事業者に対する、人材育成面及び資金面での支援や、活用事例などの有益な情報の提供

【取組みテーマⅣ：働きやすい職場環境づくり】

- ・ 多様な人材が活躍し、若者や女性、高齢者、障がい者等、誰もが働きやすい職場環境づくりを進める事業者の取組みを広く発信するとともに、その取組みを支援

連携



外国人材
との共生
推進本部

移住定住
推進本部

〔参考〕

くまもと新時代共創 総合戦略 KPI

- | | | |
|--|---|---------------|
| ● 新規学卒就職者（県内高校）の県内就職率 | -- (R5 : 66.1% ⇒ R9 : 71%) | R6実績 : 67.1% |
| ● ブライト企業に就職した新卒学生数 | ----- (R5 : 6,991人/4年 ⇒ R9 : 8,300人/4年) | R6実績 : 集計中 |
| ● くまもと移住定住・UIJターン就職支援センター登録者におけるUIJターン就職者数 | -- (R5 : 445人/4年 ⇒ R9 : 520人/4年) | R6実績 : 104人/年 |

2-I ①【県内定着】令和7年度の主な取組み

運輸分野	○ 路線バス運転士不足対策事業（5百万円）企 路線バス事業者が取り組む人材確保（大型二種免許取得経費、広報経費）に要する経費を助成 新 トラック物流人材確保事業（10百万円）商 熊本県トラック協会が行う人材確保のための合同企業説明会への支援	○ 福祉人材緊急確保事業（45百万円）健 県福祉人材・研修センターにおいて福祉人材に関する出前講座、職場体験のマッチング、介護の入門セミナー、専門職員による求人開拓や面接会等を実施 新 保育士人材確保事業（11百万円）健 保育士不足の解消に向け、関係団体等との連携のもと、以下の取組みを実施 ・「保育士・保育所支援センター」を担う委託先と連携した効果的な広報実施や、潜在保育士の掘り起こしとアプローチ手法の確立 ・中高生等を対象に保育士の魅力発信事業を行う保育士養成施設（大学等）への補助
農林水産分野	新 新しい熊本農業のリーダーズ共創事業（79百万円）農 親元就農をはじめとした核となる担い手の確保・育成を図るため、地域農業者等と共創し、安心して就農し、経営発展できる体系づくりを支援 新 くまもと農業経営・就農・継承支援事業（64百万円）農 「熊本県農業経営・就農支援センター」による担い手の確保・就農支援から、経営改善、継承支援までをワンストップで対応	○ 看護学生等の県内定着促進事業（63百万円）健 ・中高生を対象に、県内の医療機関及び看護師等学校養成所において、一日看護体験及び一日看護学生体験を実施 ・看護職による中高生や進路指導教員への出前講座 ・県内対象施設で5年間従事すれば返還免除される熊本県看護師等修学資金貸与制度による看護学生への修学資金貸与
教育分野	拡 高校生キャリアサポート事業（95百万円）教 就職希望者が多い県立学校の生徒の希望に応じた求人開拓、生徒保護者からの相談対応、社会生活への円滑な移行や就職後の早期離職防止等、学校の進路指導に対する支援を実施。支援員を1人増員した24人で就職を支援 ○ 高校卒業生向けの情報発信事業（くまらバ!）（7百万円）企 高校卒業生を対象に、公式LINEにて就職関連情報や観光関連情報を発信	○ 介護福祉士修学資金等貸付事業費補助（1億70百万円）健 熊本県社会福祉協議会が行う介護福祉士の資格取得を目指す学生（養成施設）への修学資金貸付の貸付原資等の助成 ○ 福祉系高校修学資金等貸付事業費補助（13百万円）健 熊本県社会福祉協議会が行う福祉系高校生への修学資金貸付の貸付原資等の助成

総：総務部

企：企画振興部

健：健康福祉部

商：商工労働部

観：観光文化部

農：農林水産部

土：土木部

教：教育庁

2-I ②【県内定着】令和7年度の主な取り組み

観光分野

- **観光産業復興による雇用創出事業（13百万円）** 観
観光事業者の経営力強化に向けた人材育成及び雇用確保のためのセミナーや就職面談会等を実行する。観光関連産業の就職を促進するため、UIターン就職相談窓口（商工労働部）、移住定住相談窓口（企画振興部）等が実施するイベント等において、求人情報や観光の仕事の魅力を紹介するブースを出展。
・企業・事業主向け支援
観光地の経営者に観光経営塾やコンサルティング等を実施
・求職者向け支援
観光事業の魅力を発信するセミナーを開催（就職マッチングイベントと同時開催）
・就職促進支援
就職マッチングイベントや就職フェアを開催

建設分野

- **建設産業若手人材確保緊急対策事業（15百万円）** 土
建設産業について学ぶ機会を提供するとともに、建設企業への理解を深めてもらい、県内建設産業における雇用創出を目指す。
・高校3年生等を対象とした建設企業説明会（建設企業の魅力発見フェア：令和7年6月10日）

共通

- 新 **くまもと県内就労応援事業（24百万円）** 商
若者や女性等に対する県内企業の魅力を知る機会の創出及び県内企業の採用力向上を支援。女性をメインターゲットとした各種イベントやセミナー等のPRについては、男女参画・協働推進課と連携して実施
- 新 **ようこそ熊本！プロモーション事業（6百万円）** 企
福岡県内の専門学校生や大学生を対象にした就職関連イベントや、熊本を知ってもらう出張講義等を行う。

共通

- **「くまもとではたらく」若者の県内定着促進事業（43百万円）** 商
東京、大阪、福岡及び県内に「くまもと移住定住・UIターン就職支援センター」を設置し、県外求職者へ県内企業の情報提供や相談対応、マッチング支援等を実施
- **戦略的UIターン就職加速化事業（17百万円）** 商
本県で働く人材確保に向けて、県外の求職者向けに県内企業による合同就職説明会等を開催
- **ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート事業（57百万円）** 商
県内に就職する若者の奨学金返還等を支援する制度を実施
- **県南地域企業誘致促進事業（4百万円）（企業と学校をつなぐ工場見学ツアー）** 商
県南の高校生（主に2年生）を対象とした、県南地域に所在する企業（主に半導体関連以外）の見学バスツアーの実施。ツアーを組むにあたり可能な限り多くの企業を視察候補として取り込めるよう、各地域振興局を通じ、各商工会議所に企業を紹介してもらう等、外部との連携を図る
- 新 **県南地域人材確保推進事業（15百万円）** 商
県南地域の企業及び市町村が連携して行う人材確保に向けた取り組みを支援することで、企業の魅力発信や認知度の向上を図る
- 新 **県内学生職業体験研修事業（5百万円）** 商
県南地域における若者の地元就職に対する意識を高め、県内就職率の向上を図るとともに、県南地域の企業における人材確保を支援することを目的に高校生（1，2年生）を対象としたインターンシップを実施

2-Ⅱ【人材育成】令和7年度の主な取り組み

福祉分野	新 障がい福祉担い手育成・確保事業（7百万円）健 強度行動障がい者（自傷・他害）の支援体制充実に向け、令和9年度から県主導で実施する研修の講師を養成。同じ障がいを持つ者同士でサポートを行うためのピアサポーターの養成対象分野を『精神障がい』から『全ての障がい』に拡大 ○ 看護職員確保総合推進事業（79百万円）健 ・ 新人看護職員研修事業 新人看護職員研修を実施する病院等の研修責任者等向け研修及び研修職員受入医療機関への補助 ・ 看護職キャリア支援事業 大学病院と地域医療拠点病院間での看護職相互派遣研修によるキャリア支援	拡 くまもと林業大学校人財づくり事業（166百万円）農 くまもと林業大学校を核として、長期課程・基礎課程・指導者育成課程等による人材育成や技術力向上等に取り組むとともに、希望者を対象とした林業体験を実施 拡 未来の漁村を支える人づくり事業（23百万円）農 漁業就業前から就業後までワンストップで支援するとともに、新たに経営発展や就労環境改善を目指す漁業者への支援等を実施 新 くまもと農林畜水産アカデミー構想農 次世代のトップレベルの経営者を育成するため、農林水の若手就業者に学びの機会を提供し、若手のネットワーク化を図るきっかけづくりを展開
建設分野	○ 「建設産業の力」発信事業（19百万円）土 高校等と連携した取組み、児童や生徒への建設産業の魅力発信など広く県民に建設産業をPR。より効果的なPRを図るため、教育庁と密な連携を取り時期等の調整や周知を実施 ・ 高校生向け現場実習支援（10月～2月頃） 他 ○ 建設産業働き方改革・人材育成支援事業（6百万円）土 高校生の資格取得の支援、働き方改革等に取り組む建設企業等への支援により、建設産業への入職及び人材育成を促進 ・ 高校生の施工管理技士資格取得や小型車両系建設機械受講のための支援	○ 半導体認知度向上事業（3百万円）商 半導体認知度向上動画を用いたPR活動や出前授業を実施 ○ 半導体研修受講支援事業（7百万円）商 市町村が行う半導体研修受講支援に対する支援事業を補助 新 企業と社会のサステナビリティを実現する人材育成事業（9百万円）商 企業と社会のサステナビリティの課題解決に向けた技術の習得を目的とする研修の実施と先端研究に取り組む人材の育成及び、当該研修で習得した技術を、各企業の課題に合わせて現場に実装するための伴走型支援を実施
教育分野	○ キャリア教育充実事業（10百万円）教 県内の高等学校が地域の産学官金と連携した教育改革（加15刷新）を図るための仕組みづくりを行い、開かれた教育課程の実現を目指し、県立高校全体のキャリア教育の充実を図る	○ 熊本県私立学校教育改革推進事業（9百万円の内数）総 次世代を担う人材育成の促進において、数理・データサイエンス・AI教育等の推進にかかる資金の補助

2-Ⅲ【生産性向上】-Ⅳ【働きやすい職場環境づくり】令和7年度の主な取組み

Ⅲ 生産性向上		Ⅳ 働きやすい職場環境づくり	
福祉分野	新 介護現場の勤務環境改善支援事業（2億9百万円） 健 介護サービス事業所の業務改善や効率化の取組等をワンストップで支援する相談窓口「くまもと介護テクノロジー・業務改善サポートセンター」の設置と、介護テクノロジー（ロボット・ICT）の導入に係る経費を助成 ・令和7年4月30日に設置したセンターでは、事業所からの相談対応、研修会、有識者派遣による伴走支援、介護ロボットの展示・貸出等を行い、伴走支援等による成果を介護サービス事業所へ発信し横展開	福祉分野	○ STOP離職！介護職員定着支援事業（9百万円） 健 介護サービス事業所の管理者等を対象に弁護士等によるカスタマーハラスメント対策等の研修会開催や個別相談を実施 ○ 医療従事者勤務環境改善推進事業（94百万円） 健 病院内保育所運営費・施設整備の補助 ・医療従事者が働きやすい合理的な病棟づくりのために行う施設整備や業務省力化につながる設備・システム機器等の整備に係る補助 ・医療従事者宿舍施設整備の補助
	新 障がい福祉分野のICT・ロボット等導入支援事業（20百万円） 健 業務改善や効率化を進め、職場環境の改善に取り組む障がい福祉サービス事業所等に対して、ICT・ロボット等の介護テクノロジーを導入する際の経費を助成	農林水産分野	○ 豊かな森林づくり人材育成事業（31百万円） 農 林業従事者の就労環境改善と労働安全対策の強化 ・賃金UPを行った造林・保育作業従事者の法定外福利厚生への支援 ・林業事業体の月給制導入促進に向けた取組みの支援 ・林業技能検定制度を通じた労働安全対策の強化
農林水産分野	新 原木しいたけ生産性向上DX実証事業（32百万円） 農 原木しいたけの生産及び生産管理の効率化による担い手の確保 ・椎茸乾燥機の移動化に向けた実証 ・環境データ等を活用した生産ガイドラインの作成 ・ICチップを活用した在庫管理等の効率化に向けた実証	共通	○ 熊本県ブライ企業推進事業（5百万円） 商 ブライ企業の普及・拡大を図るとともにブライ企業として認定を受けた企業への支援を実施 ○ SDGs推進事業（17百万円） 企 ・SDGs登録制度の推進 県内におけるSDGsの普及、取組みの促進を図るため、制度の周知や申請企業の審査、登録企業のPRを実施 ・熊本県SDGsアワードの推進 SDGsに関する独自の先導的な取組みを行う県内事業者や地域社会に貢献する優れた取組みを行う個人・団体等を表彰する「くまもとSDGsアワード」の推進により、県内事業者におけるSDGsの取組みの更なる質の向上を図る
産業分野	新 シンカ企業創出推進事業補助金（55百万円） 商 県内中小企業製造業のうち、経営戦略支援や伴走型支援を受けた企業を対象に、設備投資等補助を実施。企業の生産性向上と省エネ推進の実現 新 実装支援チーム派遣事業（8百万円） 商 県内中小企業製造業に対し、デジタル技術等の導入計画について伴走型支援を行い、業務プロセスの見直しや効率化・省力化を検討		

3 好事例の横展開の状況（1）

企画振興部

1. 県内定着 2. 人材育成 3. 生産性向上

4. 働きやすい職場環境 5. その他

【好事例事業所】新産住拓株式会社

【事業者の主な取り組み内容】

- ▶ 働き方改革
 - ・ 女性社員の産休育休、男性社員の育休の取得を推進
 - ・ 子が12歳になるまでの短時間勤務、社内託児制度の整備 等
- ▶ 従業員の心身の健康促進
 - ・ 健康を意識した社食や飲料を常備。アウトソーシングによる福利厚生サービスも導入
- ▶ ダイバーシティ促進
 - ・ 多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供

【取り組み後の成果】

- ▶ 働き方改革
 - ・ 女性の産休育休取得100%、復帰率100%
 - ・ R4事業年度の男性社員育児休業取得率は50%、特別有給取得率は100%
- ▶ ダイバーシティ促進
 - ・ 女性比率44%、全部門で男女が活躍

【横展開の状況】

- ・ 新聞に好事例事業所の取り組み内容が掲載され、県内事業者への周知が図られた

【今後の活用の方向性】

- ・ 好事例事業所と県内事業所が意見交換できる場（SDGsアワード表彰式内）を設け、更なる横展開や取組の深化を促す

健康福祉部

1. 県内定着 2. 人材育成 3. 生産性向上

4. 働きやすい職場環境 5. その他

【好事例事業所】社会福祉法人リデルライトホーム

【事業者の主な取り組み内容】

- ▶ ダイバーシティマネジメントの実施
 - ・ 資格を要する介護職の業務と、資格を必ずしも要しない業務に切り分け、後者の業務を細分化することで、障がい者やアクティブシニア等が働きやすい環境を整備
 - ・ 入浴介助専門など職務内容を明確に定義したジョブ型の雇用を積極採用
- ▶ ICT技術の利用促進
 - ・ 自動音声入力による会議記録作成や、ソフトの導入による勤怠管理のデジタル化など、ICT技術の活用により業務改善を促進

【取り組み後の成果】

- ▶ 介護職の負担軽減と介護サービスの質の向上
 - ・ 介護職がより専門性の高い業務に集中することができ、介護サービスの質が向上
 - ・ 休憩や休暇が取りやすくなり、残業が削減、離職率も年々低下

【横展開の状況】

- ・ 介護の仕事に関する特設サイト「ウェルカム！くまもと介護の扉」に、リデルライトホームをはじめとする高齢者施設等の好事例を紹介する動画を掲載するなどした

【今後の活用の方向性】

- ・ サイト等への掲載を通じて好事例を発信するとともに、関係団体が集まる会議等の機会を通じてサイト等を周知する

3 好事例の横展開の状況（2）

商工労働部

1.県内定着 2.人材育成 3.生産性向上

4.働きやすい職場環境 5.その他

【好事例事業所】黒川温泉観光旅館協同組合

〔事業者の主な取り組み内容〕

- ▶ 既存業務の省力化を図るため、現行の公式ウェブサイト再構築
- ▶ 備品の受発注業務の省力化を図るため、受発注システムを導入
- ▶ 地域一括独自予約決済システムの開発
 - ・組合公式ウェブサイト直接、国内旅行者の予約・決済ができるシステム構築

〔取組み後の成果〕

- ▶ 人材不足への対応、地域として経営力が向上

【好事例事業所】あさぎり地域づくり協同組合

〔事業者の主な取り組み内容〕

- ▶ 労働者派遣による働き手の確保、通年の仕事の創出
 - ・組合において派遣職員を雇用し、各組合員（農家等）のそれぞれの繁忙期に向けて職員を派遣。

〔取組み後の成果〕

- ▶ 繁忙期の人手不足の解消、年間を通じた雇用の確保

〔横展開の状況〕

- ・商工団体等の相談支援機関が発行している情報誌にDX化や省力化、人材確保の取り組みの好事例を掲載し、周知することで、助成金活用を含めた相談支援に繋いでいる

〔今後の活用の方向性〕

- ・当該団体のセミナー等で、好事例事業所がその取り組みを発表等し、会員事業者の人材確保・育成に向けた取り組みを促す

農林水産部

1.県内定着 2.人材育成 3.生産性向上

4.働きやすい職場環境 5.その他

【好事例事業所】株式会社みっちゃん工房

〔事業者の主な取り組み内容〕

- ▶ 福利厚生充実
 - ・正規従業員だけでなく、パート従業員に対しても産休・育休制度を設置し、子の看護・介護による休業についても就業規則で規定
 - ・全従業員の退職金共済加入

〔取組み後の成果〕

- ▶ 退職者の減少、求人の応募
 - ・全従業員を対象に産休・育休を整備し、休業後の職場復帰への不安解消につながったことで退職者が減少
 - ・子の看護・介護休暇の取得も可能としたことから、各従業員の働きやすい働き方が実現され、生産性も向上し、売り上げが増加
 - ・従業員のやる気向上に加え、労働環境の整備により求人数も増加

〔横展開の状況〕

- ・当該事業者は、農林水産省の表彰事業（働き方改革部門）で農林水産大臣賞（全国一位）を受賞しており、全国的に波及している優良事例である。また、他産業からの視察受入れも行っており、職場改善に向けた助言等もなされている
- ・県では、農・林・水の女性従事者が一堂に会するセミナーで当該業者に講演いただくなど、農業分野以外も含め取り組みを紹介した

〔今後の活用の方向性〕

- ・引き続き、セミナー等での紹介を通して取り組みを推進する

4 県南及び天草地域の取組み（１）

- 県南及び天草地域は、新規学卒者の県内就職率が県全体より低い状況
（県全体：61.1%、県南：56.6%、天草：49.6%）※出典：学卒月報（R7年4月末日現在）/熊本労働局
- 当該地域でも様々な取組みが行われており、商工労働部を中心に各部局も連携して取り組んでいく

県南広域本部管内(八代)における取組み

(1) (仮)若者や人材の呼び込み・地元定着推進事業

- ・若者・人材の地元への呼び込み・定着のため、昨年度に引き続き、八代地域等の企業と主に20～40代の就労希望者をマッチングする就職フェアを実施する。
- ・県外在住のUIターン希望者を対象とした企業見学会を実施し、市町と連携して八代地域の住環境等の魅力発信も行う。
- ・県南地域の市町村、商工団体等が連携して、若者・人材の地元への呼び込み・定着に係る課題を共有し検討を行う場を創設し、課題解決に向け対応を協議する。

(2) 新規就農者育成総合対策

- ・新規就農者の確保・定着を目的に、昨年度作成した「新規就農ガイド！」を改定し、管内市町及びJAやつしろの広報誌等で周知を行う。
- ・新規就農者の定着に向け、市町と連携した個別巡回指導や、交流会の開催、集合研修等の伴走型支援を昨年度に引き続き行う。
- ・産地維持に向けた経営継承支援にも力をいれており、八代地域においては高齢化が進む「JAやつしろ生姜部会」を重点地区に設定し、産地の実態調査や新規就農者の受入体制整備等の支援を行う。
令和7年度は新たに晩白柚を重点地区に追加予定。

(3) やつしろオシゴト探検フェア

（一社）八代青年会議所が、八代市内の高校生に、地元企業の仕事内容や魅力を知ってもらうため、昨年度に引き続き、体験型仕事説明会を開催する。（R5、R6は夢チャレ補助金により支援、R7は自走）

■開催日：令和7年10月23日（木）

芦北地域振興局管内における取組み

(1) 労働力不足解消・雇用機会の創出事業

株式会社タイミーと人材確保に関する連携協定を締結(R7. 4. 25)
同社が提供するスキマバイトサービス「タイミー」の活用に関するセミナーの開催等を通して、地域内事業者の人材確保及び雇用創出を図るとともに、多様な働き方の推進に取り組む。

(2) 高校生しごと発見塾（企業説明会）

地元高校生が、地域内にある企業の魅力を発見できる機会として企業説明会を開催。併せて企業紹介ガイドブックを作成・配付。
R6年度は高校生224名、地元企業等36事業所が参加。

(3) 高校生地元企業見学会

地元企業への就労促進を図ることを目的に現場見学会を実施。
R6年度は高校生162名が地元企業等20事業所を訪問。

(4) 新たな担い手確保対策プロジェクトチーム

- 関係機関と連携した日本一のカンキツ就農支援策の展開
 - ・就農フェアへの出展、バスツアー及び産地見学会等の開催
 - ・SNSやHP、就農支援策PR動画での情報発信
 - ・オンライン就農相談窓口設置
 - ・JAリリーフ園制度による栽培技術・経営管理能力の習得支援
- 新規就農者の就農定着支援
 - ・新規就農者の園地巡回による技術習得支援
 - ・新規就農者任意組織への活動支援
 - ・就農後の定着支援体制強化（就農後3年間個別サポート）

5 くまもと新時代共創総合戦略KPIに関する連携体制

- 高校生や県外の学生、県内への就職を希望される方々に、各部局・教育庁等の事業・取組みやブライト企業等の県内就職につながる情報が届くよう、各機関や情報発信媒体が連携して、くまもと新時代共創総合戦略KPIの達成を目指す

支援体制

【高校生キャリアサポーター事業】高校教育課

- 希望に応じた求人開拓、保護者からの相談、社会生活への円滑な移行や就職後の早期離職防止等、学校の進路指導の支援を行う24名の「くまもとキャリアサポーター」が県内の就職率向上に向けて、生徒と県内企業が出会い知り合う機会を創出

【移住定住・UIJターン相談窓口】地域振興課・商工政策課

- 東京、大阪、福岡及び県内に「くまもと移住定住・UIJターン 就職支援センター」を設置し、相談対応、マッチング支援等に取り組む

【ジョブカフェ・ランチによる相談】労働雇用創生課

- 各広域本部・地域振興局内（県内10か所）に無料相談窓口を設置。どなたでも様々な相談を受けている

情報発信

【高校卒業生向け情報発信事業（くまらバ！）】

地域振興課

- 高校卒業生を対象に、公式LINEにて就職関連情報や観光関連情報を発信している
- R7年度は商工労働部（福岡事務所）と連携し、福岡県内の専門学校や大学へのプロモーションを強化し、登録者増を図る。



【移住定住・UIJターン相談窓口】地域振興課・商工政策課

- 県外の大学生の県内就職を促進するため、県内への就職促進に向けた協定を締結している関東、関西及び九州（福岡）の大学に就職イベントや支援制度の周知も行っている

受入環境支援

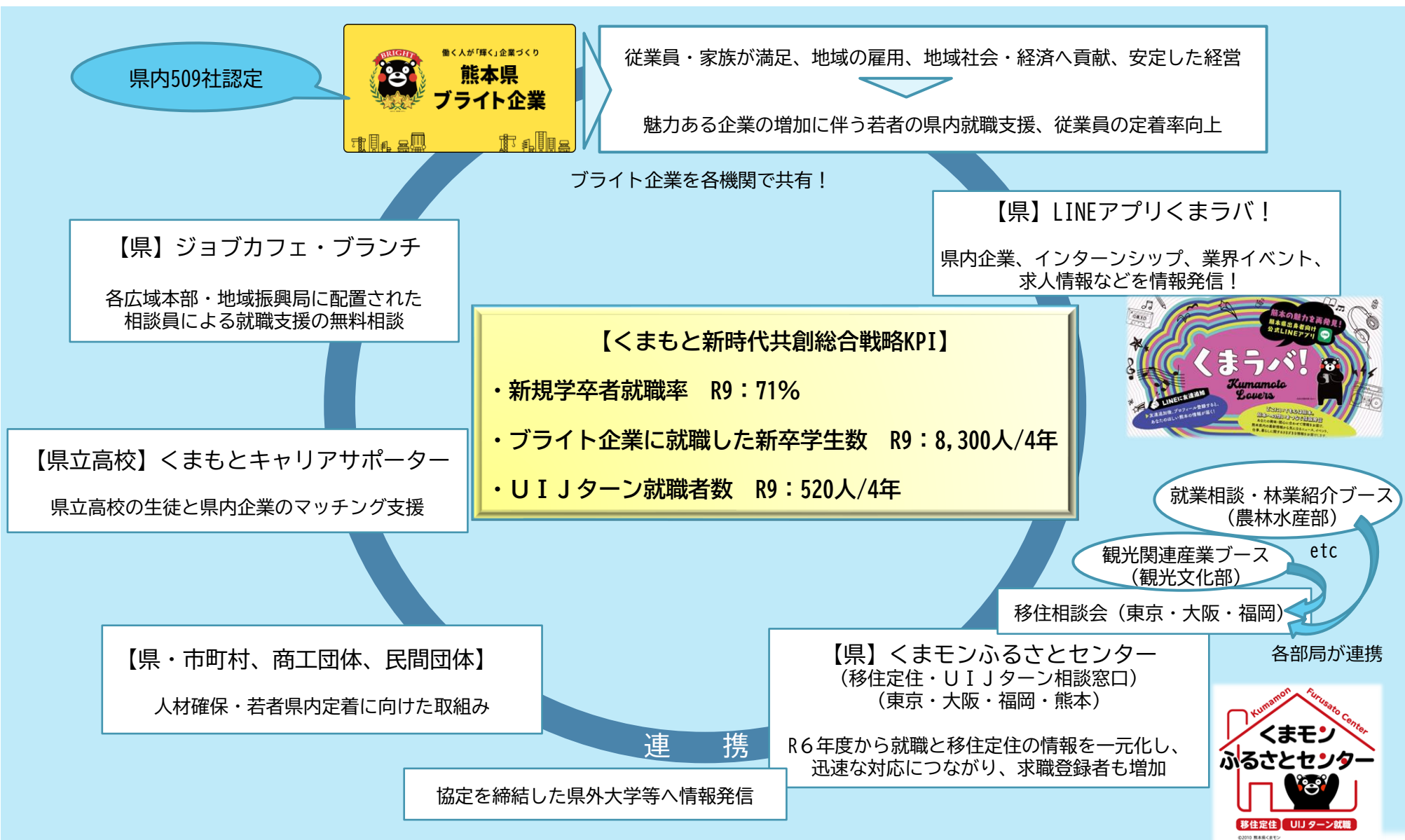
【ブライト企業の認定・情報発信】労働雇用創生課

- 従業員・家族が満足、地域の雇用、地域社会・経済へ貢献、安定した経営

魅力ある企業の増加に伴う若者の県内就職支援

ブライト企業509社を各支援機関へ情報発信

5 くまもと新時代共創総合戦略KPIに関する連携体制のイメージ図



6 新規高等学校卒業者の県内定着・人材確保に向けた取組み（１）

教育分野

拡 高校生キャリアサポート事業

教

生徒の希望に応じた求人開拓、生徒保護者からの相談対応、社会生活への円滑な移行や就職後の早期離職防止等、学校の進路指導に対する支援を実施。「くまもとキャリアサポーター」として名称を新たに、支援員を１人増員した２４人で、就職支援を実施

県内就職率の向上及び生徒と県内企業が出会い知り合う機会を創出

○ キャリア教育充実事業

教

県内の高等学校が地域の産学官金と連携した教育革新（カリキュラム刷新）を図るための仕組みづくりを行い、開かれた教育課程の実現を目指し、県立高校全体のキャリア教育の充実を図る

○ 県立高校半導体人材育成事業

教

半導体関連産業を中心とする本県の産業全体に対する生徒の理解 促進や興味関心を高め、本県産業を支える人材の育成とＵＩＪターンにつながる素地（熊本には働く場所があるという認知）づくりを推進

○ 県立高校魅力化きらめきプラン

教

県立高校のフロントランナーとしてカリキュラム開発や実践研究を行う学校（イノベーションハイスクール）や、地元企業等と連携した実践的・体験的な学びを推進する学校（プロフェッショナルハイスクール）等を指定し、変革を起こす資質や将来のリーダーとしての責任感等を備えた人材育成を目指す

福祉分野

○ 看護学生等の県内定着促進事業

健

中高生を対象に、県内の医療機関及び看護師等学校養成所において、一日看護体験及び一日看護学生体験を実施

看護職による中高生や進路指導教員への出前講座

○ 保育士人材確保事業

健

中高生等に保育士の魅力発信事業を行う保育士養成施設への補助

○ 福祉系高校修学資金等貸付事業費補助

健

熊本県社会福祉協議会が行う福祉系高校生への修学資金貸付の貸付原資等の助成

農林水産分野

新 高校・農大・地域連携による就農促進事業

農

農大と高校・地域が連携し、高校生へ農業の職業としての魅力を発信し、新たな担い手の確保に取組む。

拡 くまもと林業大学校人財づくり事業

農

高校生を対象とした林業体験を実施し、林業の現場の即戦力となる人材の確保に取組む。

拡 未来の漁村を支える人づくり事業

農

高校生を対象とした特別授業等を実施し、次世代の水産業を担う人材の確保に取組む。

6 新規高等学校卒業者の県内定着・人材確保に向けた取組み（2）

建設分野

- 「建設産業の力」発信事業 土
 高校等と連携した取組み、児童や生徒への建設産業の魅力発信など、広く県民に建設産業をPRする。また、より効果的なPRを図るため、教育庁と密な連携をとり、時期等の調整、周知を行う
 - ・工業高校オープンキャンパス支援(8月頃)
 - ・高校生向け現場実習支援（10月～2月頃）
 - ・高校生向け建設業関係団体説明会（建設産業ガイダンス）(3月頃)
- 建設産業若手人材確保緊急対策事業 土
 建設産業について学ぶ機会を提供するとともに、建設企業への理解を深めてもらい、県内建設産業における雇用創出を目指す
 - ・高校3年生等を対象とした建設企業説明会（建設企業の魅力発見フェア：令和7年6月10日）
- 建設産業働き方改革・人材育成支援事業 土
 高校生の資格取得の支援、働き方改革等に取り組む建設企業等への支援により、建設産業への入職及び人材育成を図る
 - ・高校生の施工管理技士資格取得や小型車両系建設機械受講のための支援



共通

- 熊本県私立学校経常費補助 総
 「学校魅力アップのための取組」において、地域または産業界と連携し、地域等との交流事業の実施、進路選択に関する講演会等の実施・参加等といった取組を行った学校法人への補助
- 熊本県私立学校教育改革推進事業 総
 次世代を担う人材育成の促進において、数理・データサイエンス・AI教育等の推進にかかる資金の補助
 職業等の教育の推進において、多様な職業体験にかかる取組を行った学校法人への補助
- 県南地域企業誘致促進事業 商
 （企業と学校をつなぐ工場見学ツアー）
 県南の高校生（主に2年生）を対象とした、県南地域に所在する企業（主に半導体関連以外）の見学バスツアーの実施
- 新 県内学生職業体験研修事業 商
 県南地域における若者の地元就職に対する意識を高め、県内就職率の向上を図るとともに、県南地域の企業における人材確保を支援することを目的に高校生（1，2年生）を対象としたインターンシップを実施
- 県立高校で出前講座（産業講話） 商
 希望する高校に出向いて、企業立地課の若手職員が講師となり、県内の産業や企業の紹介、県内・県外企業への就職のメリット・デメリット比較、ブライツ企業等の県の事業について講演
- 高校卒業生向けの情報発信事業（くまうバ！） 企
 高校卒業生を対象に、公式LINEにて就職関連情報や観光関連情報を発信。教育庁に依頼し、県立高校の生徒に事業を紹介

「くまもと農林畜水産アカデミー」構想の推進

－ ターゲット・手段・ゴールのイメージ －

研究機関・関係団体等

連携

熊本県農林水産部

農林畜水産業の
担い手確保・育成推進
PT会議
(部内担い手PT)

生産
経営局

新しい熊本農業のリーダーズ共創事業
くまもと農業経営・就農・継承支援事業

森林局

くまもと林業大学校人財づくり事業
豊かな森林づくり人材育成事業

水産局

未来の漁村を支える人づくり事業

手段

農林水がつながる
学びの場の創出！

各局の担い手確保・育成策の展開
引き続き充実

本県農林畜水産業を支える担い手

ターゲット

農林畜水産
アカデミー構想

若手就業者の
ネットワーク化

技術力・経営力
の向上

ゴール

次世代の
トップレベル
の経営者へ！

手段

専門性等を生かした
学びの場の提供



低い

年齢層・経験値

高い

高い

経営力

低い

くまもと農林畜水産アカデミー構想^{※1}

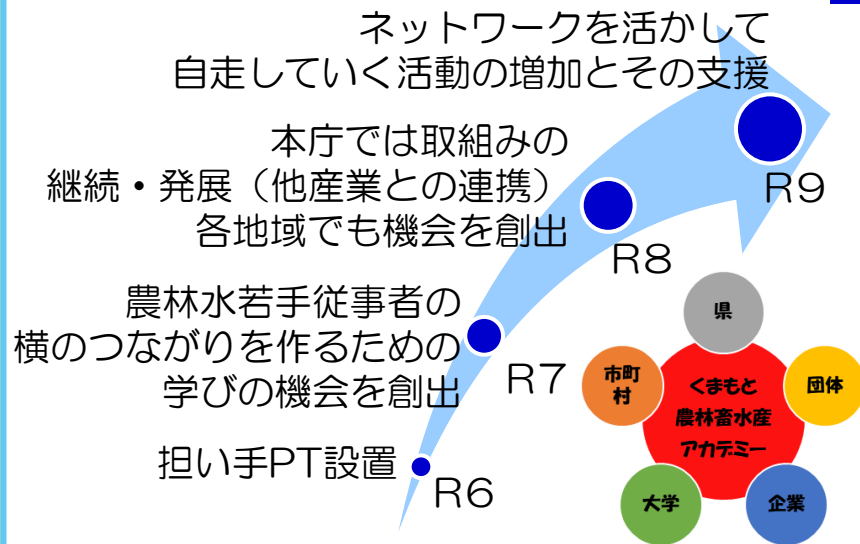
目的

「次世代のトップレベルの経営者^{※2}の育成」

手段

県は、市町村・関係機関・大学・企業等と連携して、若手就業者を対象に「学びの機会」を提供し、農林水の若手のネットワーク化^{※3}を図る“きっかけづくり”を行う。

取組みイメージ



次世代のトップレベルの経営者の育成



※1：農林畜水産アカデミー構想とは…他産業や大学等教育機関と連携して若手就業者のネットワーク化や技術力・経営力の向上を図る
県の基本的な取組方針

※2：次世代のトップレベルの経営者とは…高い技術力・経営力を持ち、他産業や地域との共創等、幅広い視野を持って経営のシン化（深化・進化・新化・伸化）・高度化・高付加価値化に取り組む等により、今後本県の農林水産業をけん引する
トップリーダーとなっていくような経営者

※3：ネットワーク化とは…課題に直面した際にすぐに聞いて頼れるような、助け合えるような関係性の構築（つながりの創出）をイメージ

(参考) 「くまもとで働こう」推進本部の進め方について

<スケジュール 案>

4月24日	第1回幹事会	➡これまでの総括、第1回本部会議の進め方等
6月6日	第1回「くまもとで働こう」推進本部会議	➡これまでの総括、R7の主な取組み等
6月～9月	関係部局にて情報収集	➡好事例の横展開の状況、掘り起こし等
6月～9月	R8当初予算に向けた事業内容の検討（関係部局にて）	
9月頃	第2回幹事会	➡R7取組み状況、新規好事例の報告等
10月上旬 ～中旬	第2回「くまもとで働こう」推進本部会議	➡事業方針（R8当初予算要求の方向性）の検討等
10月中	第2回「くまもとで働こう」推進本部会議での議論内容を踏まえ、関係部局においてR8当初予算要求	
12月	地域活力創生特別委員会での報告	
2月	R8当初予算の取りまとめ	

たった一人の課題を法人のシステムへ

高寿園の働きやすい職場づくり



社会福祉法人津山福祉会
特別養護老人ホーム高寿園
施設長 仁木則子

(このスライドの写真及び個人情報(本人に了承いただいております))

施設概要

法人	社会福祉法人津山福祉会 高寿園
事業（定員）	特別養護老人ホーム（80名）
	短期入所生活介護（19名）
	地域密着型通所介護（10名）
業種	介護保険事業（社会福祉事業）
所在地	岡山県津山市下高倉西1581-1
開設年月	1981年4月（2015年10月新築移転）
公式サイト	https://www.kojuen.jp/



法人理念

「時代に即応した施設運営

～人権の尊重と地域福祉の拠点～」

ケア理念

「居心地のよい、笑顔あふれる、私らしい暮らしと、

人を支える専門職」

- 「居心地のよい」...我が家のようにくつろげる、親しみのある人間関係
- 「笑顔あふれる」...利用者も、家族も、職員も、関わりあるすべての人が笑顔でいられるように
- 「私らしい暮らし」...個人の尊重を念頭に自己決定のある暮らしを支援します
- 「人を支える専門職」...向上心を持って知識と技術を身に着け、共感と思いやりを大切にします



働き方のダイバシティ&インクルージョン



働きやすい職場づくりを始めるきっかけ

【取り組み前の高寿園】

男性はダメ。若い女性も結婚して子供ができたなら辞めるからNG
介護は誰でもできる仕事。資格や勉強はムダ。休まない職員がよい
という考え方



若い職員の採用がない ⇒ 経験の蓄積や新陳代謝ができない
介護の専門職としての意識やサービスの質に対する関心が希薄
⇒ 意識の高い職員は定着しない

2007年「人材確保のための環境整備・子育てに関するアンケート」
⇒ 子育て支援制度の認識不足、子育て支援への要望、事業所に
対する不満が鮮明に

(n=60)

できることからしていかなければ高寿園で働きたいと思ってくれる人
はいなくなる ⇒ 子育てしやすい職場はみんなが働きやすい職場
ワークライフバランスをサポートする仕組みを整えよう！



両立支援委員会～初めの一步～



2009年 はじまりの両立支援に関する制度

- ◆産前産後休暇 8週間
- ◆育児休業 満3歳まで
- ◆育児短時間 満3歳まで
- ◆育児手当(保育所、シッター等の利用補助)
- ◆子の看護休暇 年5日
- ◆プレママ休暇(母親学級等) 5日
- ◆ニューパパサポート(育児)休暇 年3日
- ◆スクールイベント休暇
- ◆リ・ワークプログラム(復職支援)
- ◆妊娠・出産・育児・介護を理由とした退職者を同条件で再雇用
- ◆リフレッシュ休暇
- ◆1時間単位での年次有給休暇
- ◆メンタルヘルスケア(トライアル勤務)

制度の原案は子育てが終わった
ママさん職員の井戸端会議
そして両立支援委員会へ

両立支援委員会～だぶるすまいる～
中学生までの子どもを育てるパートを含む全職員



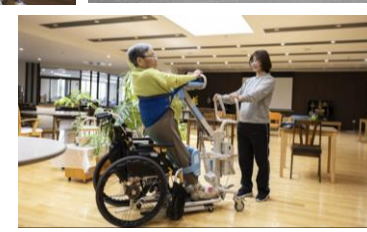
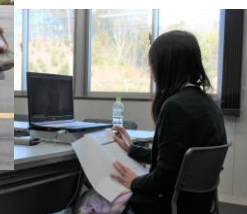
2011年～2015
ドリームプロジェクト
(理念の再構築と移転計画)

2015年
高寿園 新築移転

2018年
DWAT活動

2019年
ノーリフティングケア導入
男女共同参画社会づくり知事表彰

2021年
コロナ禍の地域交流事業
テレワーク導入
SDGsの取り組み



2022年
介護ICT機器
導入

2014年
若者応援企業
生活支援サポーター養成講座

2017年 地域連携防災訓練 おひな祭り
無償送迎付きサロンここ楽

2021年創立40周年

2025年
To be continued

2009年
始まりのWLB制度

2010年
お母さんの相談室
(職員のメンタルヘルス)



2017年
おもちゃ図書館 open
津山市WLB推進企業



2022年
My助産師
おかやま子育て応援宣言
企業 知事賞
高齢者活躍企業コンテスト
機構 理事長特別賞

2021年
育休帰園日
貸し切りおもちゃ図書館
HELLO BABYとの共催事業

2018年
学習室
課題応援
図書コーナー



2023年
NHK もぎたて取材 えるぼし認定
2024年
おかやま子育て応援企業アワード



2016年
子どもスタッフ
キッズコーナー
福祉のお仕事
わくわく探検
ハートネットTV取材



働きやすい職場への取り組み

□自分で選べる勤務形態53通り

自分で働く時間帯、日数を決められ、随時変更可
正職員・準職員・パート職員の雇用形態をライフ
ステージによっていつでも選択可能

□小学校を卒業するまで短時間正社員制度

子どもの「やりたい」を応援。子どもの「今」を
見逃さない

□パート職員も正社員と同じ待遇

パート職員への転換による賃金差をなくし、役職
を維持。スキルアップのための研修の受講を支援

□介護リフト・ICT機器活用による業務の標準化・効率化の推進

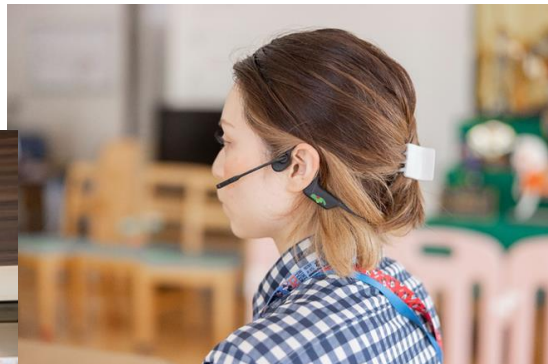
介護リフトを活用した「持ち上げない抱えない
介護」でマタニティ期のみならず職員全体の
精神的・身体的負担を軽減。見守り機器、音声
入力等ICT機器の導入で業務全体の負担を軽減

□テレワークの導入

直接介護ではない職員のテレワークを推進

□地域の多様な「ハタラク」の実現

地域の元気シニアや子育てママ等が自分の都合
のよい時間に働けるスポットワーク。日時の指定
のないアルバイトで感謝されながら「働く」社会
参加を支援。介護・看護・事務補助、環境整備等



安心して子育てできる職場への取り組み

□My助産師（専属助産師の個別サポート）

費用は法人負担。妊娠がわかってから満1歳まで、専属の助産師の個別相談が受けられる。妊娠中の不安から、出産後は乳房ケア、抱っこの仕方、離乳食や兄弟との関わりなど多岐に渡る相談に応じている。

□育休中の帰園日

1カ月に1回行く入中の手続き等で職場訪問。子どもの成長を職員や入居者とともに喜び、離れていないことを実感できることで、休職中の職員の帰属意識や安心感を高めている

□子どもスタッフ（子連れ出勤）

長期休暇や学校等の休みの日にママ・パパとともに出勤して施設の中で、宿題をしたり、手伝いをして過ごす。中学校卒業後はアルバイト等へ。県外へ出ても卒業式や成人式に報告にきてくれ、職員も入居者も成長を喜ぶなど、子どもスタッフのおかげで高寿園が大きな家族のよう

□復職支援プログラムと復職支援担当者

復職時の研修から復帰スタート。1年以上の長期間、職場を離れていることの不安を軽減。復職支援担当者・ユニットリーダーと相談しながら施設の取り組みや入居者に慣れていく段階を経て元の業務に戻っていく



安心して子育てできる地域の資源

□おもちゃ図書館

常設のおもちゃ図書館。地域の子どもたちの遊び場とママ・パパの交流の場として。絵本やおもちゃの貸し出しも実施

□地域の子育て団体との共催事業

地域の子育て団体と共催して、マタニティ期から子育てに関するレクチャー、マタニティ・産後ヨガ、手形足型アート、ランチ会、無料子ども服リサイクル等を、月6～8回開催

□夏休み課題応援

近隣小学校の教諭のボランティアで夏休み課題応援と学習支援を実施。残りがちな絵画や生活作文、読書感想文等を支援することで、親子ともに精神的負担の解消に。課題応援のボランティアは子どもスタッフが大きくなって担うことも多い

□福祉のお仕事わくわく探検

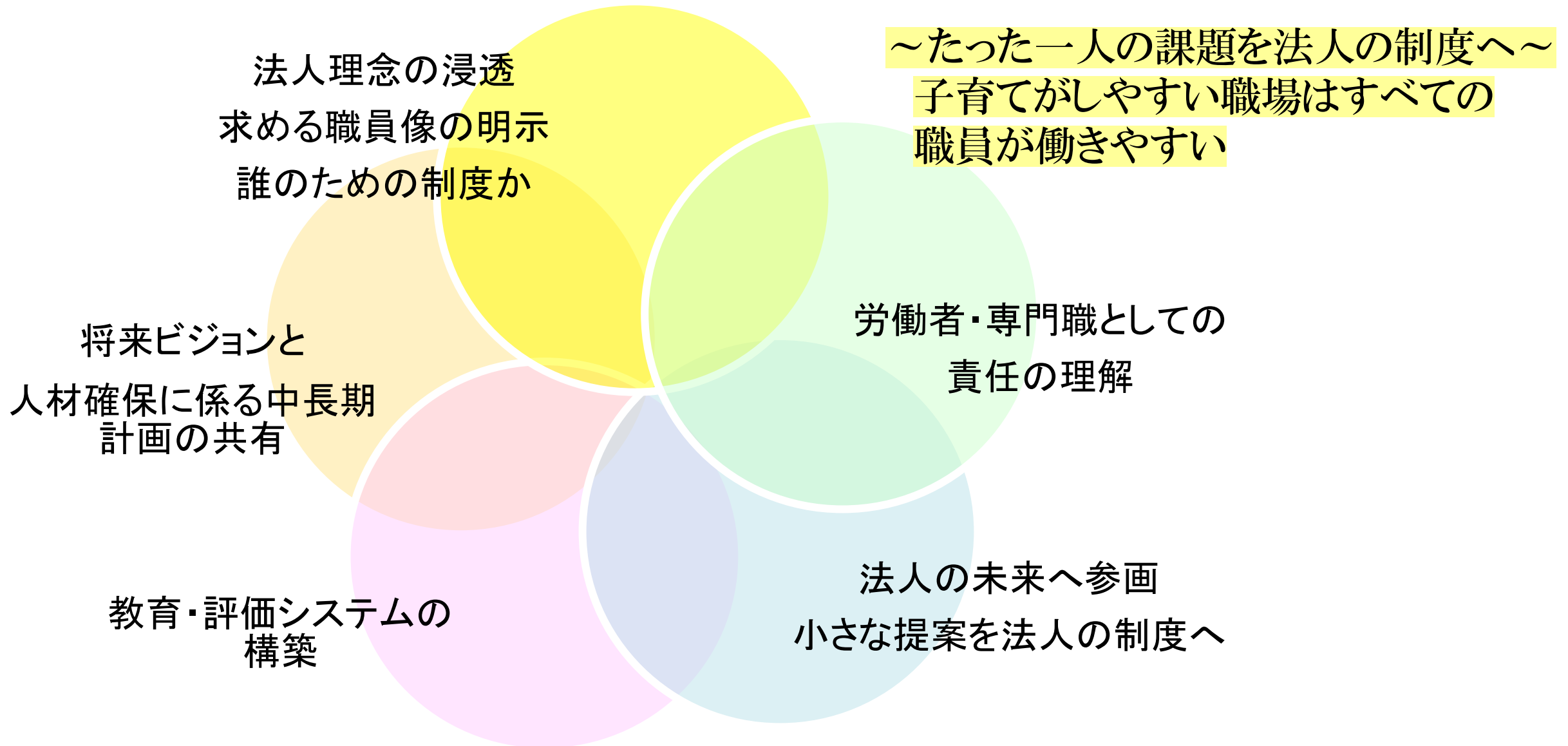
施設に住む人、働く人にインタビュー。施設の設備を体験したり、食事を食べたり。参加者には探検ノートをプレゼント。夏休みの自由課題に貢献

□つやまっ子かけこみ110番

夏の暑い日の休憩や雨宿りなど気軽に立ち寄れる場所を確保



取り組みの工夫(風土づくり)



KOJUEEN

人が好きだから
一生けんめい！

<https://www.kojuen.jp>

